

5月議会

待機児童解消 アクションプラン 動き出す

市民の願い実現へ
日本共産党

5月議会は市長が提案した待機児対策などをふくむ補正予算を全会一致で可決しました。

保育園
落ちた。

認可保育園
ふやして。

市民の声に押されて

市有地をつかい120人分を2ヶ所 市立認定こども園佐竹台幼稚園85人分増など

保育園に入りたくても入れない待機児問題が社会問題になっています。後藤市政は、待機児童解消アクションプランを発表。「3年間で2150人分の認可施設の確保」の方針のもと、5月議会に関連予算を提案しました。日本共産党は、待機児対策は認可保育所の増設を基本と考えますが、必要に迫られている多くの保護者もあり、「保育の質を低下させない」という市の姿勢を評価します。保育士の人材不足の解決のため、処遇改善などあわせてとりくむべきと主張しました。



市役所南千里庁舎敷地に保育園新設。120人分。



南千里市民プール跡地に保育園新設。120人分。



市立認定こども園佐竹台幼稚園。85人を170人に。



小規模保育所。5ヶ所95人分。



高野台スクール保育所。60人分。

写真：高野台小学校ホームページより

このほかに、議員からの発案で乳幼児をもつ保護者が本会議を傍聴できるようにする一時保育のための予算26万円。倒木によるけが・事故を防止するため樹木の伐採費用1億1500万円、耐震性に課題がある北消防署を南千里に移転検討するための土地鑑定料100万円などが決められました。



大阪維新が人権侵害の政治活動制限条例を提案

賛成少数で否決

大阪維新の会が議員提案で、職員の政治活動を制限する憲法違反の条例案、労使関係の交渉内容を公表することを求める条例案、職員の給与から組合費を天引きすることを廃止する条例案の3条例案を提案し継続審議となっていました。



条例案は、地方公務員法で認められている政党機関紙配布、デモ行

進の企画・組織、援助、集会での意見表明、政治的目的の文書発行や配布など勤務時間外であっても広範囲に行動を禁止し、憲法が保障する思想・良心の自由、集会・結社・表現の自由をじゅうりんするものです。

大阪維新の会は、条例を必要とする具体的事実(立法事実)を示すことができないまま、「規制条例」が必要だと同じ主張を繰り返しました。

採決では維新、無所属クラブが賛成。共産党、翔の会、ネット、市民自治、市民クラブ、創政会が反対。自民、公明、新選会が退席し、賛成少数で否決となりました。

総合福祉会館職員の雇い止め裁判

和解による裁判終結を 議会が否決する



維新市長時代に、総合福祉会館で働いていた2人の非常勤職員について、継続して20年間以上勤務していましたが、業務が民間委託されたことを理由に年度途中で雇い止め(解雇)されたため地位保全を求めて裁判に訴えていたもの。裁判を続けることは労使双方に不利益だとして裁判所が和解の勧告をし、市長が和解に納得し、市議会に提案されたものです。しかし、議会では反対が多数で、ひきつづき裁判を継続することとなりました。

賛成 10	共産、ネ、自、創	反対 21	公明、自民、維新、新選、無	退席 4	翔の会、ク
----------	----------	----------	---------------	---------	-------

会派名：自民＝自由民主党絆の会、新選＝吹田新選会、翔の会＝吹田翔の会、ネ＝吹田いきいき市民ネットワーク、自＝すいた市民自治、ク＝すいた市民クラブ、無＝無所属クラブ、創＝すいた創政会

意見書の結果

「待機児解消にむけて緊急な対応を求める意見書」、日本共産党が共同提案した「次期介護保険制度改革における福祉用具貸与及び住宅改修の給付見直しに関する意見書」は全会一致で可決されました。

	日本共産党	公明党	自由民主党	大阪維新の会(6)	吹田新選会	吹田翔の会	吹田いきいき市民ネットワーク	すいた市民自治	すいた市民クラブ	無所属クラブ	すいた創政会(1)	可否
日本共産党提案	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	可決
日本共産党提案	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	否決